

# 6月の保健行事

行事名	対象	期日	時間	参加費	内容
3歳児健診	平成30年5月生まれ	1日(火)			身体計測や内科診察、保健指導（問診含む）、栄養指導などを行います。 ※10か月児健診、4か月児健診は案内通知を発送していません。
1歳6か月児健診	令和元年11月生まれ	8日(火)	13:30～14:00	無料	
10か月児健診	令和2年8月生まれ	15日(火)	診察 14:00～		
4か月児健診	令和3年2月生まれ	22日(火)			
マタニティcafe★	妊婦とその家族	8日(火)	9:30～11:30		100円
		15日(火)		妊娠期～授乳期の食事のポイントを学びます。	
親子ピクス★	乳幼児とその保護者		お休み	無料	リズム遊びやふれあい遊びを行います。動きやすい服装でお越しください。
てくてく広場	乳幼児とその保護者	10日(休)	10:00～15:00	無料	身体計測後、保健師・助産師・管理栄養士・保育士が育児のさまざまな相談に応じます。
		24日(休)	9:30～11:00		
よちよちサロン ・ よちよちプチサロン	乳幼児とその保護者	7日(月)	14:00～14:30	無料	手遊びや親子ふれあい遊びを通して、寝返り、おすわり、ハイハイなど成長のお手伝いをします。
		10日(休)	13:00～14:00		
		24日(休)	11:00～11:30		
まんまclub★ 離乳食教室・初期	妊婦、生後6か月までの乳児の保護者	22日(火)	10:00～12:00	100円	離乳食の基本について学びます。 [献立] 10倍がゆ、野菜スープ
まんまclub★ 離乳食教室・中後期	妊婦、生後7～11か月の乳児の保護者	23日(火)	10:00～12:00	300円	大人の食事からのとりわけ方を学びます。 [献立] チキンビーンズ、青菜のチーズ和え、トマト寒天ゼリー
ハグハグ・デビュー	令和3年2月生まれの乳児とその保護者	2日(火)	13:30～14:30	無料	身体計測や親子ふれあい遊び、読み聞かせ、手形・足形カード作りを行います。

## ハグハグカレンダー

3日(休)	13:30～14:30	子育て支援運動講座★
4日(金)	10:30～11:00	きららのおはなし会
6日(日)	10:00～10:30	時計を作ろう①
7日(月)	10:00～10:30	愛先生の音楽遊び
9日(火)	10:30～11:00	かっちゃんのおはなし会
11日(木)	10:00～11:00	ママcafe
13日(土)	10:00～10:30	新聞紙あそび
14日(日)	10:00～10:30	時計を作ろう②
17日(水)	10:00～11:00	子育て支援栄養講座★
20日(土)	10:00～10:30	ハイハイレース
25日(金)		お誕生日会
	9:45～10:00	カード作成（手形・写真撮影）
	10:00～	イベント
27日(日)	10:00～10:30	愛先生の音楽遊び

※イベント名に「★」があるものは要予約  
 ※各種イベントは延期・中止する場合があります。町ホームページやFacebookなどをご確認ください。

イベント以外の時間は、自由に遊んだり、おしゃべりしたり、毎日たくさんのお友達が遊びに来ています。スタッフへ悩みを相談することもできます。  
 子どもを預ける施設ではありません。保護者も一緒にご参加ください。

## 子どもの急な病気に困ったら

休日・夜間に子どもが病気になったとき、  
 小児科医師・看護師へ相談できます。

**小児救急電話相談 ☎ # 8000**

## 子育て支援センター ハグハグ

町民交流センター「いこっと」1階  
 開館 / (月)～(金)・(日)、9:30～16:00  
 閉館 / (土)・(祝) (火)は対象者のみ

☎ 福祉課子育て支援係 ☎ 0943-32-1113

# よかよかだより

ボランティア出前講座⑤【最終回】

## 4原則の一つ「無償性」とは

2020年10月号からシリーズで紹介している「ボランティア出前講座」。最終回となる今回は、ボランティア活動の4原則の一つ「無償性」について考えます。

### 「無償性」とは

ボランティア活動における「無償性」は、4原則の一つである「自主性・主体性」に深く関係しています。ボランティア活動は、さまざまな社会課題の解決に向けて、自発的に取り組む活動です。見返りや報酬など、個人的な利益を得ることを第一の目的としないことから「無償性」という考え方が生まれました。

### 多様化するボランティア活動

家族の形態やライフスタイルが多様化し、地域のつながりが希薄

化する中、制度やサービス、日ごろの隣近所による支え合いでは解決できない地域課題や生活課題が増えてきています。

近年では、そのような課題の解決に取り組むボランティア活動が広がりを見せており、その中でより柔軟な活動の仕組みとして、有償によるボランティア活動に取り組み団体なども増えてきました。有償によるボランティア活動には、取り組む人と依頼する人、双方の気持ちが進められています。活動する人にとっては、有償であることが活動の促進や継続につながることで、依頼する人にとっては、気兼ねなく依頼でき、声を上げやすいという良さがあります。

このことから「無償」というイメージが強かったボランティア活動において、「有償」という考え方が、より活動の幅を広げる仕組み

みとして取り入れられるようになりました。

### ボランティアのカタチ

ボランティア活動における「無償性」とは、見返りや報酬といった個人的な利益を得ることを第一の目的とせず、課題解決に取り組む、その活動を通して得る出会いや発見、感動を大切にするという考え

方です。

国際理解や共生社会づくり、災害支援や協働のまちづくりなど、ボランティア活動も、社会の状況や変化に伴い、多様にその取り組み方を変えながら、さまざまな分野において展開されています。

「困っている人を助けたい」「育ってきた地域へ恩返しをしたい」「自分の好きを社会に活かしたい」など、ボランティア活動のきっかけはさまざまです。

一人ひとりの思いが集まり、ともに考え、違いや多様性を認め合い、課題解決に向けて一歩踏み出すことが、これまでも、これから、ボランティア活動が大切に行われているカタチと言えるのではないのでしょうか。



▲センタースタッフによる相談風景

5回シリーズで掲載してきた、特集「広報版ボランティア出前講座」はいかがだったでしょうか？ボランティア活動の基礎をテーマに、ボランティア活動の4原則について考えました。

ボランティア活動センターでは、今後もよりよい暮らしの実現に向けて、地域におけるボランティア活動を推めていきます。出前講座などのご相談も引き続き受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

### ボランティア活動センター

「よかよか」(はなやぎの里2階・

平日8時30分～17時15分)

☎0943・32・7073

FAX 0943・32・7074